

平成 21 年度第 2 回秩父市地域公共交通会議 会議録

とき

平成 22 年 1 月 13 日（水）午後 2 時～

ところ

秩父市役所歴史文化伝承館 5 階第 1 会議室

出席者

委員 14 名（欠席 1 名）、事務局 5 名

内容

1. 開会

2. 会長あいさつ（会長：田代副市長）

3. 議事（議長：会長）

（1）市営バス浦山線「ぬくもり号」の市町村自家用有償旅客運送登録の更新について

事務局より経緯、浦山地区の現状、市営バス運行の特徴等について説明する。

これに対し、議長は委員に意見を求めた。

委員：資料に収入額を明記してあるが、運行経費はどのくらいかかっているのか。

事務局：約 700 万円かかっている。

委員：スクールバスを利用している中学生は何人いるのか、また学年は。

事務局：2 年生が 1 名のみ。来年度まではスクールバス混同として運行する。

委員：それ以降はどうなるのか。

事務局：一般の市町村自家用有償旅客運送として運行する。住民に満足いただけるダイヤを検討したい。ただし、また影森小中学校の児童生徒が市営バスを利用することになった場合は、スクールバスの役目を持つ運行に切り替えることとなる。

委員：利用者が前年度に比べ減っているのは、人口が少なくなっているからか？

事務局：把握できていない。人口減も原因の一つかもしれないが、運転手の休憩時間を踏まえて運行ダイヤを作成している。このダイヤが利用者のニーズとずれていることも考えられるので、地元の意見を聞きながらより良いダイヤを検討したい。

委員：浦山町会の現状は、市内等に若い人が出てしまい高齢化が進んでいる。高齢者は、現在自家用車での移動が可能であっても、今後できなくなることも予想され心配である。バスの利用者も増えるのではと考える。

議長は、委員からの意見が出尽くしたところで、市営バス浦山線「ぬくもり号」の市町村自家用有償旅客運送登録の更新について「合意に至った」ことを委員に諮った。

⇒委員から反対意見もなく、関係者間の協議が調ったことが了承された。今後、

更新手続きを進めスムーズな運行ができるよう準備することとした。

4. その他

事務局より前回の会議で審議いただき、12月16日から新路線で運行しているお出かけ楽々バス久那線の状況について説明、補足を西武観光バスより行う。

- ・新路線運行は減便となったものの、利用者はほぼ前年並みとなっている。延伸しての路線変更は効果があったと考える。
- ・乗降客数はほぼ前年並み。路線変更したことが利便性の向上になっていることを、地元利用者に周知していきたい。また、清雲寺や花見の里への観光目的利用者の増加も見込めるのではと期待している。

以上で協議を終了し、会長は議長の座を降りた。

5. 閉会